

県下の交通事故 (3月24日現在)

区分	事故件数	死者	傷者
54年	672件	17人	927人
53年	699件	19人	993人
比較	-3.9%	-10.5%	-6.6%



◇ 第 43 号 ◇
 発行所
 甲府市丸の内一丁目6-1
 財団法人山梨県交通安全協会
 TEL 甲府 (0552) 37-7827

県民の力でなくせ死亡事故

5月11日~20日 春の全国交通安全運動



みんなで守ろう 交通ルール

企業ぐるみ安全対策 運転マナーの向上など

昭和五十四年春の全国交通安全運動は、五月十一日から二十日まで十日間、にわたって実施されます。春の全国交通安全運動は、毎年、四月の新学期に合わせ行われてきましたが、本年は四月の全国統一地方選挙のため、一カ月遅れて実施されることになりました。中央の交通対策本部で決定した安全運動のおもな実施内容は次のとおりです。

春の全国交通安全運動実施要綱

【目的】この運動はすべての者に交通安全思想を普及徹底し、正しい交通ルールの実践を習慣づけることにより、交通事故防止の徹底を図ることを目的とする。

【運動の重点】

- ①歩行者および自転車利用者、とくに子どもと老人の交通事故防止
- ②自動車・二輪車および原動機付自転車の交通事故防止
- ③安全運転の確保とシートベルト着用の推進

△：学校周辺、住宅地域、商店街等日常生活が営まれる生活ゾーン内において、歩行者および自転車利用者の安全を確保するための交通安全を強化するとともに、自転車横断帯、ガードレール、歩道等の点検整備を積極的に行い、歩行者と車の分離を徹底し、歩行者および自転車利用者の通行のため十分なスペースを優先的に確保すること。

【歩行者および自転車利用者に対する交通安全指導の推進】

△：歩行者および自転車利用者に対しては、正しい交通ルールの実践と夜間に車両に対する注意等自らの防衛意識を高めるように指導するとともに、子ども、老人および身体障害者の安全な誘導等の保護活動に努めるように指導すること。

【交通安全指導の推進】

△：子どもに対しては、幼児交通安全教本等を活用して保護者、とくに母親への交通安全指導を行い、家庭における交通安全教育の充実を図ること。

【歩行者および自転車利用者への通行環境の整備】

△：学校周辺、住宅地域、商店街等日常生活が営まれる生活ゾーン内において、歩行者および自転車利用者の安全を確保するための交通安全を強化するとともに、自転車横断帯、ガードレール、歩道等の点検整備を積極的に行い、歩行者と車の分離を徹底し、歩行者および自転車利用者の通行のため十分なスペースを優先的に確保すること。



交通安全の塔 (豊富村で)

●ダンプが頭にきた話を取って聞かない女性がいかに多いかを、三台ほど連なって走っていたダンプの一台を追い越したと、対向車がきたので二台目との間に割り込むことになってしまった。すると、前の

得な運転と損な運転 (3)

東京大学名誉教授 平尾 収

ダンプが急に速度を落としたり、始め、自分もそれにつれて速度を落としたりしたところ、いま抜いたばかりの後のダンプが加速して自分の車と並進状態になって、今度はそのまま左へ幅寄せをしてきて、とうとうその女性の車は行き場がなくなると、ダンプはそのままどんどん行ってしまし、技量未熟によって

【無謀運転等の防止】

飲酒運転、無免許(無資格)運転、覚せい剤、シンナー等の影響による無謀運転、速度超過、過積載等の防止については、各地域、職域、家庭等における啓蒙指導を徹底するとともに、悪質な違反の取り締まりを強化すること。

【企業等における安全運転の確保】

△：企業等の使用者、安全運転管理者、運行管理者および整備管理者に対しては、関係団体との連携のもとに、講習会、研修会等あらゆる機会を利用して、安全

△：老人に対しては、交通安全教室を開催するほか、家庭訪問、街頭指導、高齢者教室、老人クラブ活動等の機会を利用して、老人の特性に応じた交通安全教育の徹底を図ること。

△：自動二輪車および原動機付自転車の交通安全指導の推進

自動二輪車および原動機付自転車の交通安全指導の推進

△：自動二輪車および原動機付自転車の交通安全指導の推進

△：企業等の使用者、安全運転管理者、運行管理者および整備管理者に対しては、関係団体との連携のもとに、講習会、研修会等あらゆる機会を利用して、安全

【交通安全指導の推進】

△：子どもに対しては、幼児交通安全教本等を活用して保護者、とくに母親への交通安全指導を行い、家庭における交通安全教育の充実を図ること。

中村太郎会長が大蔵政務次官に就任

山梨県交通安全協会 会長 中村太郎氏

中村太郎氏は、十二月十二日、新内閣発足に伴う政務次官人事で、大蔵政務次官に就任された。



かしとい場合も出てくるのである。

こういう苦労があるというところは、二輪車や乗用車など加速の良い車に乗っているドライバーにはなかなか理解しがたいものだと思われ、追い越されたために自分がブレーキを踏まなければならなくなったり、トラックの運転者は「コンチキショウ」と頭にくるのである。すなわち、ちよつとも速度を落とすとは元の速度に復元するに苦労する場面が多いのである。少々上り坂だつたりすると、元の速度に戻すことがむす

に就任されました。中村会長は、参議院一期目で予算、内閣、運輸、交通安全特別委員会などの理事を務め、その実績が評価されて今回の抜てき人事になったといわれています。

中村会長は「大蔵政務次官に就任早々の新年度予算の編成で、とにかく多忙だ。国の財政全体を勉強するチャンスだと思つてがんばりたい」と語っていました。

【交通安全指導の推進】

△：子どもに対しては、幼児交通安全教本等を活用して保護者、とくに母親への交通安全指導を行い、家庭における交通安全教育の充実を図ること。

【交通安全指導の推進】

△：子どもに対しては、幼児交通安全教本等を活用して保護者、とくに母親への交通安全指導を行い、家庭における交通安全教育の充実を図ること。

危険は自ら避けるもの。ト伝の極意に学ぶ

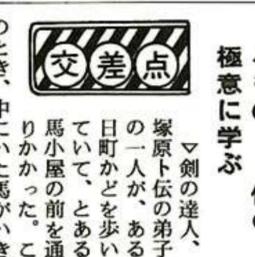
▽剣の達人、塚原ト伝の弟子の一人が、ある日町かどを歩いていて、とある馬小屋の前を通りかかった。このとき、中にいた馬がいきなり蹴上げたのである。しかしその人は、武芸のたしなみ深く、目にもとまらぬ早技でひらりと体をかわして事なきを得た。

▽これを目撃した近所の人びとがいわく「さすがはト伝先生の御弟子、たいしたものだ。弟子があつたらあんなに、ト伝先生はもうすばらしい腕前だろ」と。

▽これがうわさとなって先生は「よし、では我が極意の程を見せて進せよう」と言つて、かのあはれ馬のいる馬小屋のところへ出かけていった。多くの人びとがカタズをとんで見守るなかで、なんとト伝先生は、馬小屋からかなり離れた道路の向う側をゆうゆうと歩いて通つたという。

▽これを現在の交通状態にてらしてみると、なかなか味のあることである。きわどい運転を楽しむので、名人芸だと思ふことはなかない話だ。ドライバーのなかには「俺は甲府から何分とんで来た」とか「前に車がいると追い越さないで気がすまない」というスビドマニアがかなりいる。この人たちは、自分の技倆を名人芸だと思つたいのだらうか。ト伝先生の話を聞いたらなんと、思うことだらうか。

▽安全運転の秘訣とは「君子危きに近寄らず」とする説もある。自ら危険のことをしない。危険なことには近寄らない。そのための方法として、徐行と一旦停止を大いに活用する、というのだ。安全の極意、安全の技倆とは「危険は自ら避けるものなり」というト伝の極意に学ぼう。



第19回交通安全国民運動中央大会

本県安協が全国表彰

新しい交通秩序の確立を

運転者の社会的責任の自覚と、新しい交通秩序の確立をめざし、さらに交通事故を減少せよと、全日本交通安全協会・都道府県交通安全協会主催の第19回交通安全国民運動中央大会が、一月十八日、十九日の両日東京で開催されました。

第一日は、地域・企業、婦人、こどもの四部会に分かれ、それぞれの立場から意見発表が行われました。第二日の本会議は、日比谷公会堂に常陸宮、同妃両殿下のご臨席を仰ぎ、全国から約二千人が参加して盛大に開催されました。本会議には大平内閣総理



常陸宮同妃両殿下ご臨席の本会議……日比谷公会堂で



県安協が受賞した盾

お言葉

多年にわたる官民一体の努力の結果、わが国の交通安全は、ここ数年、毎年減少をつけていることは、まことに喜ばしいこととあります。

しかしながら、死者は、今年お年間六十万人にも及んでいることはまことに憂うべきであります。

宣言

交通事故は、ここ数年減少の傾向を示してきたが、現下のきびしい交通情勢から、予断を許さない状況にある。しかも歩行者、自転車、とくに子ども、老人の事故多発は、憂慮すべきものがある。

ここにわれわれは、第19回交通安全国民運動中央大会を開催するにあたり、決意を新たに、運転者の社会的責任の自覚と新しい交通秩序の確立を目ざし、さらに交通事故を減少させることを誓う。

- 一、歩行者および自転車、とくに子どもと老人の事故防止
- 二、自動車および原動機付自転車の事故防止
- 三、無謀運転の防止と運転マナーの向上
- 四、企業等における安全運転の確保
- 五、シートベルト、ヘルメット着用

右宣言する。
昭和五十四年一月十九日
第19回交通安全国民運動中央大会

交通安全賞章に輝く人

高山 優氏

金章は、安協表彰では最高の栄誉で、本県で優良運転者としての受賞者は五人目です。

高山氏は、富士急行のバス運転者で、実働三十年のベテラン。昭和三十一年七月、天皇・皇后両陛下が本



【交通安全賞章】

- ◇緑十字金章 (優良運転者) 優 富士急行 高山
- ◇緑十字銀章 (交通功労者) 優 甲府安協 小林 貞治
- ◇緑十字銀章 (優良運転者) 優 山梨安協 高野 慶貴
- ◇富士急行 渡辺 清仁
- ◇山梨交通 石原 三郎

【優良交通安全団体】

優良交通安全団体

県に行幸啓され、富士山五合目ご視察の際は、選ばれた船津口から登山道バスの運転者をつとめました。表彰式には、夫人菊子さんも出席し、内助の功を費した感謝状を贈られ、ともよるご喜びを語り合っていました。(富士吉田市上吉田、五十歳)

小林貞治氏



【交通安全優良企業】

- 富士急行山梨運輸事業部
- 上野原町立上野原中学校
- 山梨県交通安全協会
- 山梨交通安全協会

中村会長の話

お除様で、山梨県安協は



高野慶貴氏

交通安全功労者として「緑十字銀章」を受賞した高野慶貴氏は、県安協理事、山梨安協会長です。地区安協の役員経験も長く、評議員、理事、副会長、会長と通算二十七年の実績があります。組織の充実、制服の整備、災害保障制度の確立、市町村助成金の拡大など躍進的活動を続けている実働家です。その功績は抜群といわれています。(勝沼町勝沼三〇五一、高野建設株式会社社長、五十四歳)

「横断旗」を大切に

「横断旗」は、横断歩道を渡る場合に、自動車の運転者に対し、歩行者が通行中であることを知らせ、安全に渡ることができるようにする大切な旗です。



交通安全を呼びかけるシンボルタワー (富士吉田署で)

交通安全のシンボルタワー

富士吉田安協では、富士吉田署の玄関口に、交通安全を呼びかけるシンボルタワーを建設しました。これは同安協が創立二十五周年を記念して建てた「記念広塔」で、高さ七メートル、

できませんが、年々増やしていくようにしています。せっかく備えていても、使った人がちゃんと箱に入っておかないと、風にとばされたり、車で踏まれてしまう。横断旗は一本九十円もするので、もっと大切に取り扱いましょう。

新規購入 映画の紹介

県安協では、新しく次の映画を購入しました。無料で貸出します。ご活用ください。

一 交通事故を起こさない
一 車と自然の法則— 16ミリ、カラー、30分、運転者向。

交通事故には、車の特性(物理法則)に対する運転者の認識不足から起きているものがたくさんあります。運転者は、この特性を無視することはできません。この映画は実際に起こった事故事例を科学的に分析研究し、車の特性とはどんなものなのか、また、車の運転にどのような影響を及ぼすものなのかを描いて、い

つでも正しい運転に心掛けよう強く訴えています。二 自転車のきまりと正しい乗り方
一 道交法改正で自転車通行方法が変わりました。16ミリ、カラー、23分、こども向、母親向。

この映画は、少年少女たちが、自転車に乗るときに、基本的な方法と、改正道交法による自転車のきまりと正しい乗り方を、わかりやすく順序だてて説明しています。

三 みんなで守ろう 道路交
通法
一 改正のあらまし— 16ミリ、カラー、25分、運転者向。

昨年十二月一日改正の、道交法など関係法令をわかりやすく、具体的に説明したもので、運転者講習会用に最適です。

四 バンダちゃんの、じてんしゃきょうしつ
16ミリ、カラー、14分、こども向。

幼児や低学年の間で「自転車遊び」がますます盛んになっていきます。しかし、心配なのは交通事故です。この映画は、こどもたちに正しい、安全な自転車の乗り方を身につけさせるために、安全の知識やルールを楽しくみながら教えてくれます。

橋

宮野 貢 作詞
清水 吾郎 作曲

橋

宮野 貢 作詞
清水 吾郎 作曲

あの橋いろんな 自動車やおびえるように 自転車も走って行く橋 渡る橋

この橋はくらの 渡る橋
自転車引き引き 渡る橋
引かずに乗って 人もある

あの橋車の 渡る橋
この橋はくらの 渡る橋
ここにみんなが 渡る橋

複数事故が多発

昨年の県内交通事故

件数・傷者減る

死者は増加し106名

昨年一年間の県内の交通事故は、件数、傷者は減少し、昭和四十七年以来七年連続減少となりましたが、残念ながら死者は前年に比べ六名増の百六名となり、連続七年減少の目標を達成することはできませんでした。

これに伴って、人口十万人当たりの死者数も、前年の一二・七人から一三・四人と急上昇し、全国平均七・七人を五・七人も上回り、ワースト四位という状況で、交通危険度の高い県となっております。

なお、一日平均の発生状況は、件数一〇・七件、死者〇・二九人、傷者一四・三人となります。

全国および県下の交通事故の発生状況とその増減比



悲劇の夜明け、この悲しみを繰り返すな……

全国・本県の交通事故発生状況 (▲減少)

発生	対比	53年		52年		増減		人口10万人当り数	
		件数	率	件数	率	数	率	53年	52年
全国	発生	464,037	0.7	460,649	0.7	3,388	▲0.7	406.5	407.3
山梨	発生	3,893	3.3	4,024	3.3	▲131	▲0.3	492.8	512.0
全国	死者	8,783	7.9	8,945	7.9	▲162	▲1.8	7.7	7.9
山梨	死者	106	6.0	100	6.0	▲6	▲0.2	13.4	12.7
全国	傷者	594,116	0.2	593,211	0.2	905	▲0.2	520.5	524.6
山梨	傷者	5,205	4.3	5,440	4.3	▲235	▲4.3	658.9	692.1

目立つ女性の事故

本格的な防止対策を

女性ドライバーの急増に伴って、女性ドライバーの交通事故がうなぎ上りに増えていきます。

五十三年末現在の県内の運転免許証保有者は、三十二万五千六百三十二人で、このうち女性は九万七千二百七十二人、全体に占

める割合は二九・九%ですが、ここ二、三年の状況をみると、男性が毎年五千程度の伸びであるのに対し、女性は毎年一万人以上の増加を示し、ことし中に十万人を超えることは確実となっております。

こうした状況を反映し

て、女性ドライバーによる事故も増える一方、昨年一年間に四百五十五件発生し死者十一人、傷者六百十人を数えています。

女性ドライバーによる事故が、全事故に占める割合は、過去五年間増え続け、昨年は一一・七%に達しま

死亡事故を防げ

イエロー・ゾーン作戦

県警は、昭和五十四年度警察運営の重点目標に「交通事故死亡事故抑制の総合的対策の推進」を掲げ、具体的方策として、死亡事故多発地域を「イエロー・ゾーン」(要注意地域)に指定し、その地域内の道路を中心に各種の安全対策を総合的に

実施して、交通事故死亡事故の抑制を図ることにしています。

指定区分

イエロー・ゾーンは、次の区分により指定されています。

① 国中イエロー・ゾーン
甲府市、石和町、竜王町、昭和町、田富町、白根町、若草町、櫛形町、甲西町、玉穂村、八田村(一市八町二村)

② 県境(峡北)イエロー・ゾーン
韮崎市、長坂町、小淵沢町、白州町、武川村(一市三町一村)

③ 県境(郡内)イエロー・ゾーン
富士吉田市、都留市、西桂町、河口湖町、勝山村、鳴沢村、上九一色村(二市二町三村)

交通安全施設の整備、イエロー・ゾーン内における安全対策の概要は次のとおりです。



イエロー作戦の展開、まず点検が行われている

◇信号機、標識、標示等規制関係の整備を推進する。

◇横断歩道、自転車横断帯、はみ出し禁止等の標示の整備充実を努める。

◇道路管理者に対し、危険箇所(ガードレール、街路照明、カーブミラー、歩道の設置、交差点の改良(すみ切り)等)安全対策を重点的に講ずるよう、その促進を図る。

また、カーブや坂路の改良、スピード・ダウンの標示、安全溝等の路面改良を要請し、その促進を図る。

◇安全教育を推進し、運転者に対しては安全運転の指導を、老人に対しては関係者の協力を得て個別指導をこどもに対しては交通安全の開催、自転車の指導等を徹底して行う。

◇効果的な広報活動を実施し、住民の注意心を喚起させる。

また、県境では県外車を対象とした街頭指導所の設置、ビラ・チラシの配付を行う。

◇重点的な交通指導取り締まりを常時実施し、悪質違反の徹底した取り締まりを行う。

声

女性ドライバーは年々増加し、本県でも十万人に達するとのことですが、また、女性の交通事故の方も急増し、とくにここ三年間はうなぎ上りという事です。

県警の発表では、事故原因の多くは交差点内で発生し、その大部分が優先関係無視した山梨ルールといわれる右折優先?と「相手がよけてくれると思った」という見込み運転の甘さが「相手は止まってくれ」と「相手が止まってくれな

わたしの防衛運転

矢崎 みちる

私たちが女性ドライバーの信条といえるものがあるとは、このさい大いに反省し、原点にかえて、「安全防衛運転」を励行し、安全運転の基本に徹して、この汚名をそそぎたいと思います。

それは、「君子危きに近寄らず」で「危険のことをしな

度・横断歩道・歩行者保護の違反が上位を占め、とくに速度違反による事故が大幅に増加しています。

◇交差点の事故が多く、とくに、市町村道に多く、事故は四八・九%が交差点で起きています。

◇初心者、経験の浅いドライバーの事故が多く、免許取得後三年未満のドライバーによる事故は、全体の三〇・八%にも及んでいます。

ない、危険に近づかない」こと。その方法として①絶対にはささない ②追い越しをさける ③とにかく止まるの三つを守ることにしています。今後この三原則を私の防衛運転の信条とし、習慣づけ、安全運転を続けていきたいと思っています。(市川安協婦人部会長、須玉町女性ドライバーの会々長)



無保険バイク一掃運動

違反は減点6!

バイク(原動機付自転車)の保険加入率は、他の車種にくらべ極端に低いといわれています。

最近婦人層に人気があり、急激な普及率を示している反面、関係する交通事故も、また増加しておりま

思わぬ事故を起した運転者が、自賠責保険が切れていたり、保険に未加入だったばかりに、高額な補償を自己負担しなければならなかった悲劇も多いのです。

昨年十二月から施行された新入学生児童たちが、通学にこの黄色い腕章をつけることにより、みんなが注意し合い、まだ交通になれない小さい子どもたちが、交通事故にあわないよううにしたいものです。

県安協では、新入学期にあたり、こどもを交通事故から守る運動の一環として、県下の新入学生児童に対し、交通安全の黄色い腕章を贈ることになりました。

配分の方法は、三月末日までに各警察署を通じ、各小学校にお届けいたします。

なお、甲府市および富士吉田市については、富士銀行が寄贈することになって

山梨県交通安全協会会員のための災害共済のお奨め

万人は一人のために 一人は万人のために

※ 保険会社の職員が内容説明に伺います。

提供団体 山梨県交通安全協会

引受会社



甲府市丸の内三丁目20-3
TEL 0552 (22) 4836(代)

交通教室

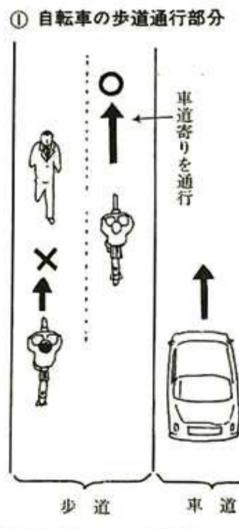
横断は「横断帯」で 歩道では歩行者保護義務も

新しい自転車の交通方法

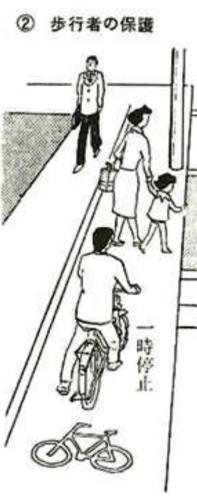
改正道交法は、昨年の十二月一日から施行され、自転車の交通方法が整備されました。自転車の新しい交通方法を知り、正しい乗り方を身につけましょう。

自転車の定義
自転車には二輪、三輪のものが含まれていますが、歩道を通行できるのは普通自転車に限られています。

歩行者の通行を妨害しないように
普通自転車は「自転車および歩行者専用」の標識のある歩道を通行することができ、この場合、普通自転車は、歩道の中央から車道寄りの部分を徐行しなければなりません。イラスト①



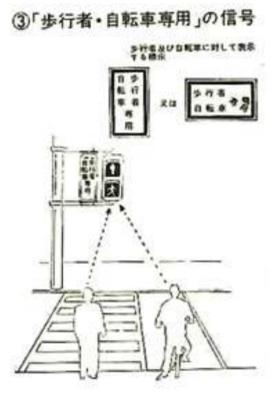
普通自転車とは他の車両をけん引しない二輪または三輪の自転車、長さが百九十センチメートル、幅が六十センチメートルを超えないものとされています。二人乗り用のものは歩道通行はできません。



普通自転車は、歩道を通行するとき、歩行者の通行を妨害することとなる場合は、一時停止しなければなりません。つまり、歩行者に対する保護義務があるわけです。イラスト②

その手前の直近で、交差点への進入を禁止する道路標識があるときは、その標識を越えて交差点にはいってはいけません。

このような場所では、普通自転車は、左側の歩道に

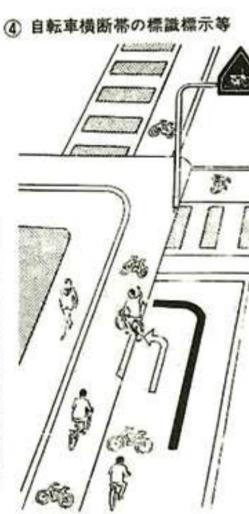


道路横断の方法
自転車は、道路を横断しようとするときは、「自転車横断帯」のある場所やその付近では、その自転車横断帯で横断しなければなりません。

「自転車横断帯」は、白線と白の自転車シンボルマークで示されています。

信号の意味
自転車は通常、車両用の信号に従って通行してはなりません。自転車横断帯の新設に伴って、人の形の記号を有する信号機に「歩行者・自転車専用」の表示がある場合、歩行者と同じようにその信号に従って通行してはなりません。イラスト③

交差点への進入禁止
普通自転車は、交差点や



停止表示板は基準に合ったものを
認定品TS器材を
あつせん

道交法の改正により、自動車事故の理由により、高速道路の本線車道、加速線、減速線、登坂車線又はこれに接する路肩、路側帯において停止するとき、停止器材によって明らかに表示しなければならぬことになりました。

その表示方法は、昼夜間の停止表示器材を、後方から進行して来る自動車の運転者が見やすい道路上の位置に置くことになっていきます。

また、この停止表示器材はなんでもよいというわけではなく、道交法施行規則で定める基準に適合したものでなければなりません。

同規則の基準は、正立三角板で路面上に垂直に設置できるものとし、色は赤色で、昼夜間共二百メートルの距離から容易に確認できるものであること等その寸法まで規定し、さらに国家公安委員会の認定制度を設けて基準適合器材にはTSマーク



うにしなければなりません。イラスト④

完全なブレーキ、完全な後部反射器を備えた自転車を運転することが義務付けられ、ブレーキ不備は三万円以下の罰金となり、完全なブレーキとは、十キロの速度で三メートル以内でとまれる性能を有するもので、完全な反射器とは、夜間百メートルの後方から、自動車のライトで照らして反射がはっきりわかるものです。



武田神社で交通安全祈願祭
恒例の県安協の交通安全祈願祭は、1月8日武田神社で行われました。祈願には、県安協役員多数と、県警本部からも八島本部長をはじめ交通部幹部、白バイ隊員も参加し「ことごとく、交通死者を2ケタまで減らすように」と決意を誓い合いました。

交通安全のしつけを 大切なお母さんの指導

毎年交通事故は減少していますが、そのなかで、被害率の高いのが、子どもと老人の事故です。とくに、子どもの交通事故の責任は親にもあり、とりわけ母親の指導は重要といえます。

新入學に当たり、お母さん方は子どもの特性を正しく理解し、子どもに交通安全の基本を身につけさせてあげてください。

指導に当たっては次のような点にご注意ください。

- 1 横断歩道の渡り方をいっしょに教えてあげましょう。
- 2 道路のへりでは、かならず、いったん止まる習慣を、道路を渡る時は車道に歩み出す前に、必ず立ち止まり、周囲の安全を確かめさせましょう。また、左右を確かめている間に車が見えたら、その車がきちんと止まってから渡るように教えます。
- 3 子どもの交通事故原因の八割が、とび出しです。車のスピードは、すぐに止められないほどは早いものです。どんなに急いでいても、車がかたとえ速くあっても、決して道路へ飛び出さないよう、厳しく教えてあげてください。この性格上、道路の向こう側から友だちや母親に声をかけられた場合、ボールを追いかけるとき、犬といっしょに走る場合などが、最も危険なときです。
- 4 車の直前・直後の横断も事故の多いケースの一つです。この事故では、とび出しについて多いのがこれです。駐車中の車や通り過ぎた車のすぐ後ろを横断すると、反対側から車がくることもあり、またいったん止まってしまった車の前を渡るうとする、その車のかげから急に別の車が出て、はねられる場合もあります。よく注意して指導してあげてください。
- 5 路上での遊びにはじゅうぶんに注意しましょう。都会では遊び場が少なく、道路の近くで遊ぶのが、路上や道路の近くで遊ぶのは絶対にやめさせてください。前もって、遊んでもいい場所、安全な場所(公園や広場など)を教えるおき、そのほかでは遊ばないよう注意しましょう。日頃から家の付近に危険な場所はないか、チェックしたり、子どもの話を聞いてみるのも安全な方法です。

県下一の
広いコースで 早い上達を!

伝統ある当校で
1日も早く免許証を あなたの手に

財団法人
山梨県交通安全協会経営

公認 **山梨自動車学校**

八田村野牛島1828 山梨県運転免許センター内
TEL 05528-5-0752